

## 平成 29 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

### ●施設の概要

施設名	岐阜市文化会館(岐阜市民会館)		所管課	市民参画部 文化芸術課			
所在地	岐阜市美江寺町2丁目6番地						
指定管理者名	一般財団法人 岐阜市公共ホール管理財団						
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日(5年間)						
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募	<input checked="" type="checkbox"/> 非公募					
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料	<input type="checkbox"/> 利用料金	<input type="checkbox"/>	料金徴収なし			
指定管理委託料(年額)	334, 402, 000円(平成29年度、岐阜市文化センターと合算)						
施設の設置目的	市民の文化及び教養の向上と福祉の増進を図るため。						
施設概要	ホール1、展示ギャラリー1、会議室2、多目的ルーム2、練習スタジオ1、和室1						

### ●利用状況

		H29 下半期	H29 上半期	H28下半期	H28 上半期	H27下半期
各室稼働状況(%)	利用者数(単位:人)	78,626	66,950	58,121	49,793	70,810
	大ホール	61.3%	37.2%	64.4%	32.5%	57.8%
	展示ギャラリー	35.1%	29.7%	33.9%	28.6%	39.1%
	会議室80	45.2%	34.3%	42.9%	37.1%	37.3%
	会議室48	70.8%	73.1%	66.7%	66.9%	67.7%
	多目的ルームA	53.6%	45.1%	47.0%	38.9%	34.8%
	多目的ルームB	39.9%	41.1%	26.2%	35.4%	38.5%
	練習スタジオ	68.5%	53.1%	55.4%	44.0%	28.6%
	和室	44.0%	36.0%	21.4%	21.7%	23.0%

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①適正に運営されている。 ②職員10人を配置し、業務を適切に遂行している。 ③年間の広報計画に基づき、広報誌や、フリーペーパー、さらに有料広告を活用し、積極的な広報活動を実施している。 ④指定管理者が定めた受付マニュアルに基づき、適切に対応している。
自主事業・提案事業	下記自主事業の実施 ①市民ジャズ・ビッグバンド「楽市JAZZ楽団」事業 ②子ども伝統文化体験教室・発表会(和太鼓) & 出前講座 ③第39回ぎふアジア映画祭 ④市民スタッフ事業 ⑤市民プロデュース公演応援プロジェクト(公募) ⑥ぎふ演劇ワークショップ ⑦岐阜市中学校美術作品展2017 ⑧「楽市JAZZ楽団」地域貢献事業 ⑨「戯曲セミナー＆リーディング発表会」 ⑩市民スタッフ育成事業	①市民ジャズ・ビッグバンド「楽市JAZZ楽団」事業 ・1月21日(日) 第10回ぎふジャズフェスティバル実施 1,170人 ②子ども伝統文化体験教室・発表会(和太鼓) & 出前講座 ・1月21日(火) 出前講座(能楽) 芥見東小学校 72人 ③第39回ぎふアジア映画祭 ・10月14日(土)～12月2日(土) 2,319人 ・12月2日(土) コトリンゴLIVE 458人 ④市民スタッフ事業 ・12月9日(土) 市民スタッフチャレンジ企画 “がんばれ若鮎” 第3弾 「岐阜でみつけた未来の星」 86人 ・2月3日(土) 「上を向いて歩こう」映画上映＆うたごえ広場 401人 ・2月4日(日) 「上を向いて歩こう」映画上映＆うたごえ広場 633人 ⑤市民プロデュース公演応援プロジェクト(公募) ・11月11日(土) 第22回採択事業「ダンサ・ラフメンカ」 238人 ・1月24日(水) 第23回審査会実施 ⑥ぎふ演劇ワークショップ ・2月17日(土)、18日(日) 一般の部 35人 ・3月11日(日)、17日(土)、18日(日) 中学生の部 280人 ⑦岐阜市中学校美術作品展2017 ・毎月市内中学校2校の展示 ⑧「楽市JAZZ楽団」地域貢献事業 ・10月6日(金) 加納西小学校出前コンサート実施 291人 ・10月13日(金) 第125回東海市長会出演 ・11月2日(木) 第23回寺町サミットin岐阜出演 ・11月11日(土) 藍川東中学校出前コンサート実施 245人 ・11月23日(木・祝) 楽市スタンダードジャズLIVE実施 305人 ・12月22日(金) クリスマス・ジャズ講座実施 350人 ・2月12日(月・祝) 岐阜聖徳学園高校出前ジャズ講座 30人 ⑨「戯曲セミナー＆リーディング発表会」 ・1月27日(土) 優秀短編発表会 90人 ⑩市民スタッフ育成事業 ・11月26日(日) 研修 小林教授 ・1月13日(土) 出張研修 扶桑文化会館
施設管理	①清掃業務 ②守衛業務 ③受付業務 ④建築物環境衛生管理業務 ⑤エレベーター設備保守点検 ⑥各種点検業務	毎日の日報及び実地調査にて履行状況を確認 ①清掃業務 ・日常清掃(開館前清掃、施設使用後の清掃)について計画通り実施 ・定期清掃(ワックスかけ、ガラス清掃、絨毯清掃)について計画通り実施 ②守衛業務 ・定期巡回(午前5時、午後7時、午後11時)、鍵・扉の開施錠業務、照明の点消灯業務、駐車場の管理業務について計画通り実施 ③受付業務 ・毎日午前8時～午後8時までの受付、案内、接遇、電話対応、簡単な事務補助、OA機器操作補助、催し物掲示板整理業務について計画通り実施 ④建築物環境衛生管理業務 ・貯水槽の清掃、水質検査業務、污水槽・排水槽の点検清掃業務、病害虫等調査・防除業務について計画通り実施 ⑤エレベーター設備保守点検 ・月1回の点検を実施 ⑥各種点検業務 ・実施計画に基づき、順次実施

施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	経年劣化等による故障を受け、速やかに修繕を実施した。 ・大ホール客席天井修繕 ・東棟入口扉等修繕 ・大ホール舞台調光設備電源レギュレーター修繕 利用者の利便性向上に繋がる修繕を実施した。 ・大ホール2Fロビーコンセント修繕 ・大ホール上手樂屋ブラインド取替修繕 ・大ホール客席表示板修繕
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①岐阜市個人情報保護条例及び同施行規則並びに財団規程に基づき、適正に管理運営を行っている。 ②独自の危機管理マニュアルにより、地震や火災、風水害、事故・事件等について、全ての職員が適切に対応できる体制を整え、来館者の安全を守る意識を高めている。 ③当施設の条例及び施行規則や関係法令を遵守し、適正に運営されている。

### ●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	・12月15日～2月28日までの施設利用者(団体)79団体に「ご利用者カード」への記入を呼び掛け、54団体からの回答を得た。 アンケート質問項目は、「使用会場」「職員の応対」「敏速な対応」「的確な対応」「館内清掃」「備品満足度」「今後も利用したいか」「他施設の候補を考えたか」「利用の決め手」「当施設を以前から知っていたか」「情報媒体」。 ・常時「ご意見箱」とその記入用紙を館内(1階集会室ロビー)に設置。 ・「ご意見受付シート」により、来館者、利用者の意見・要望を把握するよう努めている。
利用者アンケートの実施結果	○ご利用者カード集計結果 回収総数 54枚(回収率68%) 「使用会場」 大ホール 20.4%、展示ギャラリー 7.4%、会議室80 16.7%、会議室48 16.7%、多目的ルームA 13.0%、多目的ルームB 5.6%、和室 9.3%、練習スタジオ 11.1% 「職員の応対」 非常に良い 74.1%、良い 20.4%、普通 3.7%、悪い 0%、非常に悪い 0% 無記入 1.9% 「敏速な対応」 非常に良い 77.8%、良い 18.5%、普通 1.9%、悪い 0%、非常に悪い 0% 無記入 1.9% 「的確な対応」 非常に良い 74.1%、良い 18.5%、普通 1.9%、悪い 0%、非常に悪い 1.9% 無記入 3.7% 「館内清掃」 非常に良い 75.9%、良い 16.7%、普通 3.7%、悪い1.9%、非常に悪い 0% 無記入 1.9% 「備品満足度」 非常に良い 72.2%、良い 16.7%、普通 9.3%、悪い 0%、非常に悪い 0% 無記入 1.9% 「今後も利用したいか」 思う 98.1%、思わない 0% 無記入 1.9% 「当施設を以前から知っていたか」 はい 85.2%、いいえ 5.6% 無記入 9.3% 「他施設の候補を考えたか」 考えなかった 64.8%、考えた 27.8%(他施設…ドリームシアター、ワークプラザ、メディアコスモス、岐阜市文化センター、長良川スポーツプラザ、弁護士会、路のカフェ、ハートフルスクエアG、西部福祉会館) 無記入 7.4% (主な意見) ・とても快適に過ごせました。Wi-Fiが使えたので大変助かりました。 ・附属設備等きちんと整っていると交通手段等分かりやすく立地条件が良い。 ・駐車場を増やして頂けるとさらに利用しやすいです。 ・丁寧に対応いただき本当にありがとうございました。 ・会社説明、面接会で使用させて頂いております。いつも気持ち良い対応ありがとうございます。
利用者からの要望・苦情と対処・改善	利用者から寄せられた意見等に対しては、直接本人に回答するようにしている。窓口対応で利用者と職員が顔の見える関係を築くことが重要と考えているため、アンケート等に記入されないようご意見や要望なども、コミュニケーションの中から把握し、「ご意見受付シート」を活用して市民会館全体で共有するようにしている。 (主な意見と対応) トイレを含め建物全体を新しくきれいにしてくださったうれしいです。 →市民会館は設立から50年以上経過しているため、建物が古くなっているが、清掃、修繕を行い、利用者に気持ちよく施設をご利用いただけるよう努めている。建物やトイレの改修については、市民からのご意見として岐阜市へ要望していく。 今まで何回も市民会館に来てトイレが和式で1個しかないので驚きました。洋式にして欲しいと思います。 →市民会館の大ホールのトイレは、和式と洋式トイレが複数設置されているが、地下駐車場の横のトイレには、和式トイレが男女それぞれ1個ずつしかない。市民からのご意見として岐阜市へ要望していく。 いつも掃除がすみまでされていない。 →清掃員にはお客様からの指摘があったことを伝えるとともに、今後の細かな部分まで気を付けて清掃するよう指示をした。さらに清掃道具を練習スタジオに設置し、利用者が自由に使えるようにした。 宅配の手配ぐらいは普通はやる。 →確実に荷物が配達されるようにするために、直接利用者から手配する方法をご理解いただくよう努める。 スクリーンの位置がもう少し高いと良い。 →新たに購入する予定はないが、今後の購入の参考とする。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制	・岐阜市の文化芸術振興の拠点施設として、住民の平等利用の確保をはじめ、岐阜市の施策に沿った運営を行っているか	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・市の情報公開制度に基づき公開されているか。 ・指定管理者の発行する広報誌、チラシやホームページで広報されているか	A	A	A
		区分評価				
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮するものであること	文化芸術事業を行っていく上での方針と主な事業計画	・市民の文化芸術への参加・参画の促進、文化芸術の普及・啓発、文化芸術を担う人材の育成、優れた文化芸術の鑑賞機会の提供に積極的に取り組んでいるか	S	S	S
		市民協働を取り組んでいく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、市民との協働に積極的に取り組んでいるか	S	S	S
		貸館業務・管理業務・舞台業務を行っている上での方針と主な事業計画	・岐阜市の文化芸術振興の拠点施設として、文化芸術に関する相談、助言など付加価値のある貸館業務に取り組むとともに、安全な管理業務、舞台業務の運営につとめているか	A	A	A
		既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無	・業務内容を常に見直し、業務改善に取り組めているか	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策（利用者に対するサービスの向上）など	・利用者へのアンケート調査を実施しているか ・また、その結果、利用者の要望、クレームに対し適切に対応しているか	A	A	S
		利用促進、利用者増の方策	・新規利用者の獲得、リピーター確保による利用促進を図っているか	A	A	S
		サービスの質を確保するための体制	・施設の効用（設置目的）を最大限発揮できるスタッフの配置	A	A	A
		区分評価				
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	管理経費縮減の具体的方策	・管理経費は効率的かつ適切に使用されているか ・省エネ管理マニュアルなどをもとに、光熱水費削減に努めているか ・収支予算と実績とは大きくかい離していないか	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性（効率的な管理運営を図るためにの体制など）	・職員の人材育成に努め、効果的かつ適切な運営体制であるか ・文化センター及び市民会館をあわせた管理運営を効率的に行っているか	A	A	A
		区分評価				
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	スタッフの管理、監督体制など	・事業を実施するために必要な資格や知識・経験を有する職員を配置しているか ・より良いサービス、活動を提供するために職員が勤務しやすい職場環境ができているか	A	A	A
		スタッフの人材育成の方策	・業務に必要な研修を実施し、資質の向上に努めているか	A	A	A
		リスクへの対応方策・能力（利用者の安全確保策、非常時の対応マニュアルなど）	・危機管理マニュアル・緊急連絡網等を整備し、緊急事態に対応できる体制が整っており、実際発生した際には対応ができたか ・また、個人情報保護等法令順守は適切に行われているか	S	S	S
		施設管理業務を行っていく上での方針と具体策	・施設管理業務を行う上での方針に沿った修繕を行っているか ・各種機械設備の保守点検、危機管理体制の整備、あるいは安全に十分に留意した管理運営を行っているか	A	A	A
		区分評価				
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の文化団体等の育成	・地元のアーティストを活用するなどし、文化団体等の育成に努めているか	S	S	S
		その他地元への貢献に関すること	・利用者以外の市民の問い合わせ等に対応しているか。また、地域の文化芸術を通した地域振興に取り組んでいるか ・まちのにぎわいへの地域貢献しているか	A	A	A
		区分評価				

## ●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

1. 貸し館業務  
市民会館大ホールについては、昨年度下半期と比べて利用日数が20日増、利用額が約307万円増であった。昨年度は電動式舞台機構(吊り物)設備改修工事の関係で平成29年1月23日～3月15日まで大ホールが使用できなかつたが、今年度は、その期間從来のリピーターの幼稚園の発表会などの利用が堅調であったので、利用額が増加した。各室においては、練習スタジオと和室について、昨年度下半期と比べて利用日数、利用額が大幅に増加した。練習スタジオは、複数のクラシックバレエの団体による毎月2～4回の定期利用が昨年度から引き続き堅調であったことと、新規の社交ダンスの団体が週1回定期利用されたことが増加の要因である。また、和室は、仕舞・謡曲の稽古、俳句の会、子ども向けの英語教室、バランスボール体操セミナーなどの利用が定期的にあつたため大幅な増加に繋がつた。特に、バランスボールの体操セミナーは利用相談会で営業を実施し、新規の定期利用につなげることができた。

2月6日(火)・7日(水)に開催した利用相談会では、生命保険会社、岐阜市内の高校、ダンススクール、着付教室や幼児教室などを中心に営業を実施した結果、9団体15名が来館された。今後も市民会館の大ホール・各室利用の傾向分析を踏まえ、利用に繋がる地道な営業を継続したい。

### 2. 施設管理

耐震補強工事は完了したもの、施設は築50年以上になっており、常日頃からチェックとメンテナンスが欠かせない状況である。利用者の利便性を高め、気持ちよく使っていただけるよう、下記のような対応を取った。

- ① サイン表示の見直しを実施し、客席表示板の表示をわかりやすく修正した。
- ② 地下トイレの小便器の排水の流れが悪い部分があつたため修繕を実施した。
- ③ 上手樂屋のブライントの動きが悪かったためスムーズに動くように修繕を実施した。
- ④ 施設の安全管理に必要な改修工事については、優先順位を決定してすぐに岐阜市に提案するなど、岐阜市と綿密な連携をとり、施設運営を実施した。
- ⑤ 省エネマニュアルに基づき冷暖房の節減に努めた。また、電力量のピークを管理するデマンド計を導入しており、電気使用量の適正な管理で、電気料金の節約に努めた。

### 3. 市民の劇場・市民ふれあい事業による地域貢献

- ①「楽市JAZZ樂団」事業、及び同樂団による「地域貢献」事業では、地域の学校や催しに赴いて演奏を実施したほか、ジャズフェスティバルのブレ企画としてスタンダードジャズLIVE、クリスマス・ジャズ講座等を実施することで、児童や普段生のジャズ・ポップス演奏に触れるこの少ない市民に貴重な機会を提供した。また、樂団10周年かつ信長公岐阜入城・岐阜命名450年を記念して、信長公をモチーフにした樂団オリジナル曲「夢幻～信長と濃姫～」を作成し、依頼演奏やブレ企画、ジャズフェスティバルで披露した。第10回ぎふジャズフェスティバルにおいては1000名を超える集客があり、地域の活性化に貢献することができた。
- ②「子ども伝統文化体験教室」では市内小学校へ能楽出前講座を実施し、約70名の児童に普段触れる機会の少ない伝統文化を体験する機会を提供した。
- ③「第39回ぎふアジア映画祭」では、岐阜駅に隣接するハートフルスクエアGにてポスター展を開催し、岐阜市文化センター、岐阜市民会館に加えて柳ヶ瀬のCINEXでも上映を実施するなど、岐阜のまちの賑わいづくりに貢献した。
- ④「市民スタッフ事業」では、「チャレンジ企画」においては「落語」を取り上げ、全日本学生落語選手権「策伝大賞」の優勝者を輩出するなど活躍が目覚ましい岐阜大学落語研究会を招き、地元の若手噺家を紹介する機会を提供了。また、本編では「上を向いて歩こう」の映画上映とともに、映画上映当時の柳ヶ瀬の思い出について市民スタッフと一緒に映像にまとめ、当日上映したほか、「うたごえ広場」においては、高校生の吹奏楽の演奏を実施するなど、地域文化の活性化に貢献することができた。
- ⑤市民プロデュース公演応援プロジェクトでは、第23回の審査会を実施し、1団体採択となった。また、第22回採択事業「ダンサ・フラメンカ」が11月に実施され、公演や広報活動のサポートの成果もあって大勢の来客があった。これを機に自力で主催公演を継続されることを期待したい。
- ⑥「ぎふ演劇ワークショップ」では、2月には一般的の部が開催され、名古屋で活躍する劇作家から指導が行われた。また、3月に行われた中学生の部では、地元で活躍する劇団員から演劇の基礎を学ぶとともに、県内4つの中学校による発表会が行われ、夏の大会に向けた全体的なレベルアップに繋がつた。
- ⑦「戯曲セミナー＆リーディング発表会」では、受講生の作品の中から優秀作品を選出し、優秀短編発表会としてリーディング形式で発表会を開催した。当日は90名の来場があり、受講者、来場者ともに好評を得ることができ、岐阜の演劇文化の発展に貢献することができた。
- ⑧「市民スタッフ育成事業」では、古典芸能に造詣が深い大学教授を講師に招き、「落語と歌舞伎」と題した講義をしてもらい、歌舞伎や落語などの古典芸能への関心を高めることができた。また、文化ボランティアの先進事例を学ぶため、扶桑文化会館への出張研修を実施した。

### 1. 取組み状況

上半期には、施設が古いにもかかわらず各会議室でリピーターを確保したこと、及び新規利用者を獲得したことについて評価いただいた。昨年度下半期と比較して、会議室80、48、多目的ルームA・Bについては、稼働率を上げることができた。特に、多目的ルームBは、13.7ポイント上昇した。また、岐阜商工会議所のリニューアルオープンに備えた利用者の定着についてご意見をいただいた。利用者アンケートや日々のコミュニケーションから利用者の要望をくみ取り、サポートを行うことで利用者の定着に取り組んだ結果、他施設への移行は限定的であった。今後も引き続き地道に利用相談会などの営業活動を実施し、利用促進と定着に取り組んでいく。

### 2. 貸館業務・施設管理

これまで評価いただいたように、年2回実施する利用者アンケートではいずれの項目でも「非常に良い」「良い」の合計が90%を超える回答をいただいているが、アンケート満足度の高さに甘んじることなく、常に利用者からのご意見を取り上げていきたい。また、施設の修繕や安全管理に関しては、事故等なく施設運営を行っている。地震や火災などを想定した総合防災訓練を年2回実施しているが、休日や夜間帯の少数勤務体制や、来場者に視覚障害者を想定したより実践的な避難訓練に取り組み、防災危機意識を高めている。

### 3. 市民の劇場・市民ふれあい事業

上半期には「初心者のためのダンスワークショップ」について、対象を初心者限定とすることで敷居を下げ、ダンス文化の普及に貢献したことをご評価いただいた。下半期に実施した事業についても、「楽市JAZZ樂団」事業においてジャズ文化の普及、「子ども伝統文化体験教室・発表会」において能楽文化の普及、「戯曲セミナー＆リーディング発表会」において演劇文化の普及など、地域に根差した文化芸術の普及に努めている。特に、市民ボランティアと協働で企画立案する「市民スタッフ事業」のチャレンジ企画においては、新たに「落語」を切り口に、岐阜大学落語研究会に出演いただき、地元の団体と協働で落語に触れる機会を提供することで落語文化の普及に貢献した。市民参画創造型事業である「楽市JAZZ樂団」地域貢献事業においても、積極的に地域の学校やイベントの出演依頼を受けることで、地域の文化振興に貢献している。

## 今期の取組みに対する評価

## 前回までの意見を踏まえた取組み状況

	<p><b>1. 貸し館業務</b> 定期利用団体を確保していくとともに、下半期において25団体あった新規利用者に継続利用してもらえるよう、積極的な営業活動をしていく。また、下半期の定期利用団体の特徴を分析すると、クラシックバレエ・社交ダンス・仕舞・謡曲の稽古場所や子ども英語劇・俳句の会の会場としての利用であったので、次回利用相談会では同様のジャンルへの営業を強化することで更なる定期利用団体を増やしていく。</p> <p><b>2. 施設管理</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①利用者の利便性向上のため、上手楽屋利用時に大きなものが出し入れしやすいように西出口子扉の修繕を実施する。</li> <li>②来賓室で安心して授乳ができるようにカーテンの取替修繕を実施する。</li> <li>③エレベータの経年劣化に伴う部品の取替修繕を実施する。</li> <li>④来年度実施予定の大ホールの音響設備修繕工事等に向けた設計業務について、岐阜市と連絡を密にして協力していく。</li> </ol> <p><b>3. 市民の劇場・市民ふれあい事業</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①「樂市JAZZ樂団」では、5月に団員募集を実施し、6月に総オーディションを実施する。学校への出前コンサートの企画・実施や、第11回ぎふジャズフェスティバルに向けて準備を進めていく。</li> <li>②「初心者のためのダンスワークショップ」では、モダンダンス(コンテンポラリー)のワークショップ参加者を募集する。7月にワークショップの実施に向けて取り組む。</li> <li>③「絵本deクラシック」は5月のチケット発売に向けてのPR活動と、8月の公演実施に向けて準備を進めていく。</li> <li>④「子ども伝統文化体験教室・発表会(和太鼓)」の参加者を募集する。8月に練習を実施し、発表会に向けて取り組む。</li> <li>⑤「松竹大歌舞伎」は6月のチケット発売に向けてPR活動を充実し、9月の公演実施に向けて準備を進めていく。</li> <li>⑥「第40回ぎふアジア映画祭」では、9月からの開催に向けて、市民スタッフとともに会議を実施し、選定作品・企画を練っていく。</li> <li>⑦「市民スタッフ事業」では、月2回の企画会議を実施し、市民スタッフと一緒に「落語」を切り口にした企画を練り上げていく。</li> <li>⑧「市民プロデュース公演応援プロジェクト(公募)」では、5月から企画を募集し、7月に審査会を実施する。また、7月公演の採択事業のPR協力、当日実施に向けての支援をしていく。</li> <li>⑨「ぎふ演劇ワークショップ」では、5月に高校生の部を開催する。</li> <li>⑩「岐阜市中学校美術作品展」では、4月から1か月単位で市内中学校2校による共同展示を開催する。</li> <li>⑪劇団ジャブジャブサークット公演「ランチタイムセミナー」は、6月の公演実施に向けての準備とPR活動を進めていく。</li> <li>⑫「樂市JAZZ樂団」地域貢献事業では、中高生を対象とする「夏休み体験教室」を8月に開催する。</li> <li>⑬「戯曲セミナー」の講座を7月から月1、2回ペースで実施する。</li> <li>⑭「グレン・ミラー・オーケストラ」については、8月にチケット発売を行い、11月の実施に向けて準備を進めていく。</li> <li>⑮「市民スタッフ育成事業」では、市民スタッフの活動に役立つ、外部研修や出張研修の実施準備を進めていく。</li> </ol>
<b>今後の取組み</b>	

### ●所管課の意見

適切な人員配置及び業務委託により、安全に十分留意した管理運営が行われている。  
 市民会館は開館して51年が経過し、施設・設備機器の経年劣化が進んでいるが、日常の点検業務や計画的な修繕によって施設の維持管理、安全性の確保に努めている。また、異常を早期発見することで、修繕で終えることができ、円滑な施設運営ができていることは評価できる。  
 移動率は比較的向上しており、昨年度の吊り物工事で大ホールが一定期間使用できなかったものの、従来からの利用者が戻り、各会議室等でも、リピーターを確保するとともに新規利用者も獲得しており、他の施設と比べ、古い建物であるが健闘していることは評価できる。  
 指定事業においては、「ぎふアジア映画祭」でコトリンゴLIVEの特別企画を行うなど、新たな取り組みが功を奏し昨年度比で約900人増加したことは高く評価できる。また、樂市JAZZ樂団事業では、信長公450プロジェクトに協力し、新たに「夢幻～信長と濃姫～」を作曲して演奏したことや、出前講座で市内、市外に訪問して、岐阜市の音楽文化の発信等に貢献されたことも評価できる。  
 今後も文化の拠点として、アウトリーチを含め岐阜市の文化を親しむ土壤を培う一翼を担うこと期待する。

### ●指定管理者評価委員会の意見

- ・施設は古いが綺麗に管理されている。
- ・ホールにおけるイベント開始前に、緊急地震速報に関するアナウンスをすることとなっているが、あらかじめ録音したものを用意し、流せるようにしておくと良い。
- ・アンケートにおける意見に対し真摯に対応し、改善すべきことは改善している点は評価できる。ぜひ継続してほしい。